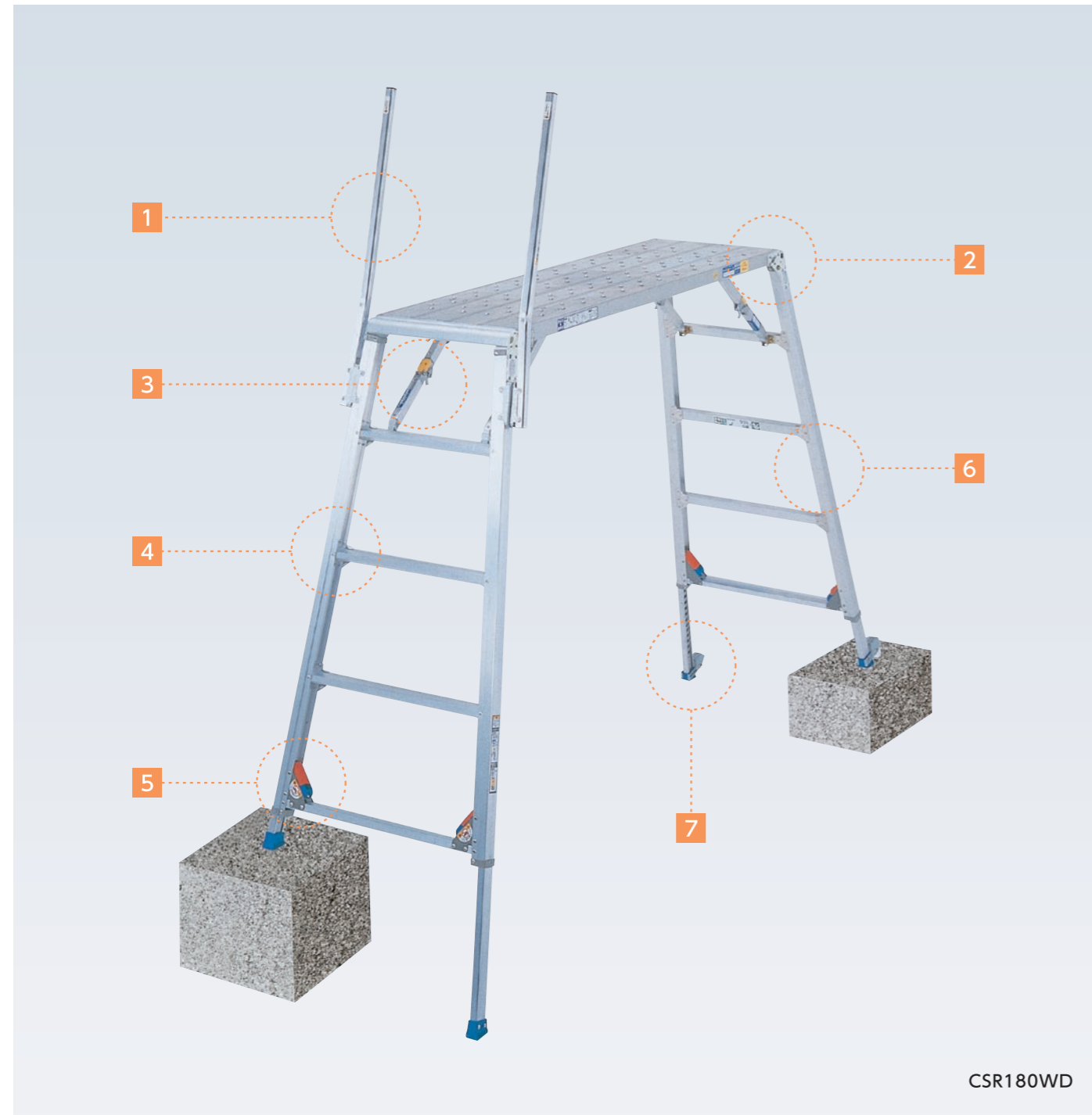


## 作業台・ローリングタワー

軽量性・安全性・堅牢性を徹底追求。  
使いやすく拡張性にも優れた多機能作業台。



CSR180WD

1 収納式手掛かり棒

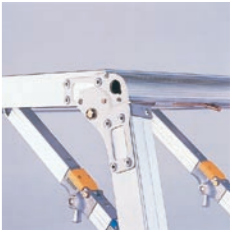
昇降時に便利・安全な手掛かり棒付き。持ち運び時は本体側に収納できます。

※CSR180WD



2 ガタツキを大幅に解消

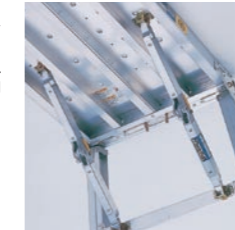
開脚状態で回転金具と固定金具が完全接触。突き出しピン方式だけでは解消が困難な金具部分のガタツキが大幅になくなりました。



3 優れた安全性

ロックヒンジを組み込んだプレスとスライドロックとの二重ロックにより横(妻)方向の揺れも大幅減少。

※CSR180WD / CSR150D



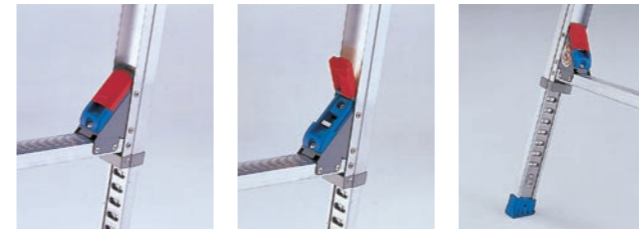
4 堅牢設計

踏棧は端部と支柱を面密着させ、補強部材を施した堅固な設計。



5 天板の水平保持・簡単なメンテナンス

各伸縮脚は、25mmピッチで調節可能。凹凸のある場所でも天板を傾けずに作業できます。ロック操作部は安全カバーを採用。蓋が閉じられることでロック確認が行え、操作部への異物の侵入も防ぎます。



6 軽量化と高い剛性

支柱の基本は□パイプ構造。軽量と剛性の両立が図られています。



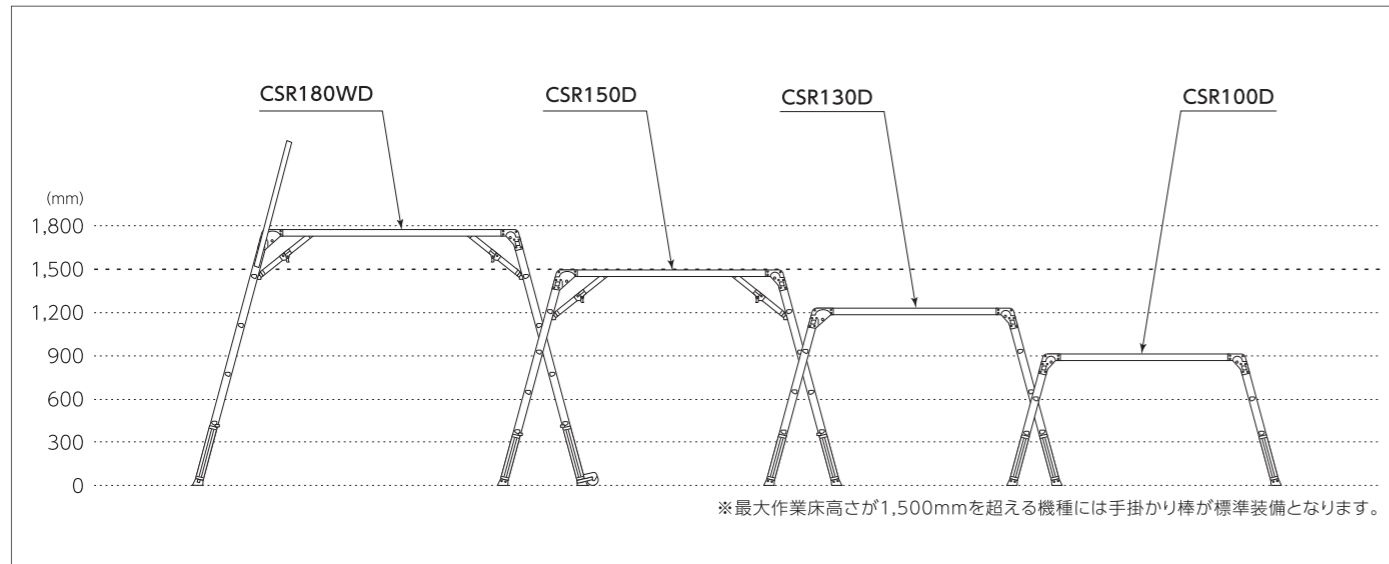
7 【オプション】専用車輪



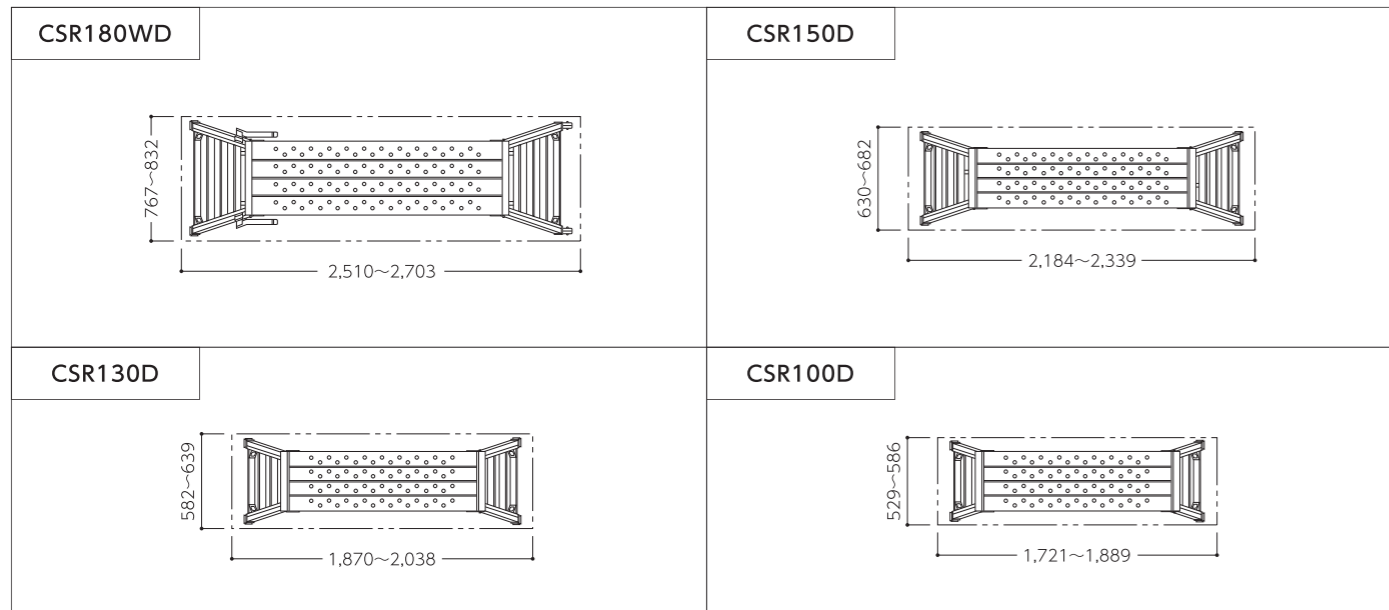
品番	天板有効寸法(mm)		作業床高さ(mm)	調節幅(mm)	設置寸法(mm)	
	W	D			W	D
CSR180WD	1,680	500	1,417 ~ 1,777	25	2,510 ~ 2,703	767 ~ 832
CSR150D	1,488	400	1,204 ~ 1,493	25	2,184 ~ 2,339	630 ~ 682
CSR130D	1,300	400	925 ~ 1,238	25	1,870 ~ 2,038	582 ~ 639
CSR100D	1,300	400	646 ~ 959	25	1,721 ~ 1,889	529 ~ 586

収納寸法(mm)			プレス数量	手掛かり棒数量	単重(kg)	許容荷重(kN)	梱包
W	D	H					
1,775	767	165	4	2	24.40	1.47	6
1,559	630	160	2	—	16.10	1.47	
1,395	582	160	—	—	13.20	1.47	
1,395	529	122	—	—	11.50	1.47	

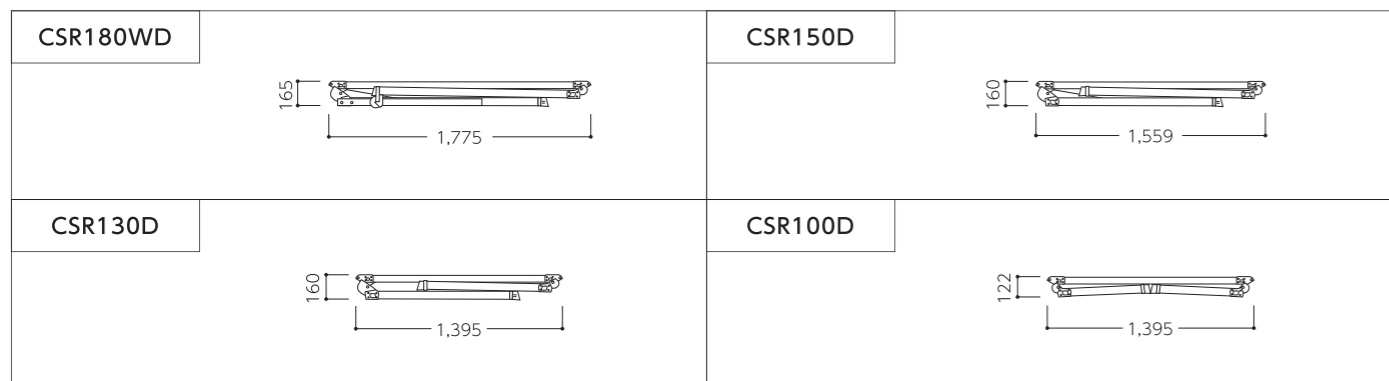
## 最大作業床高さ比較



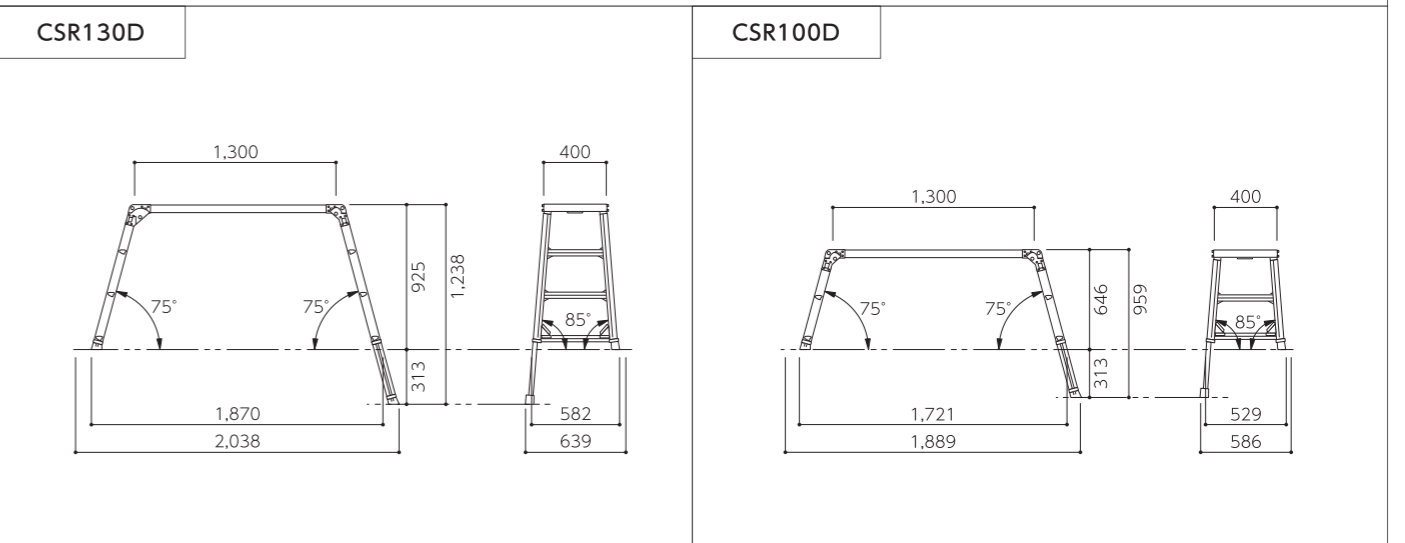
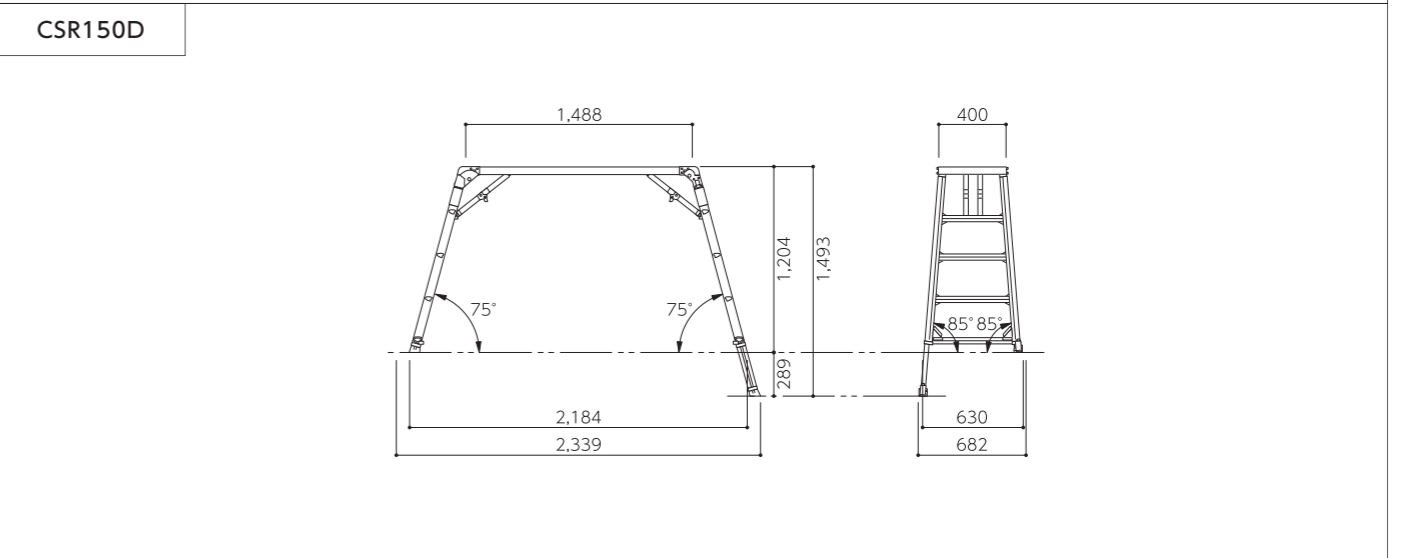
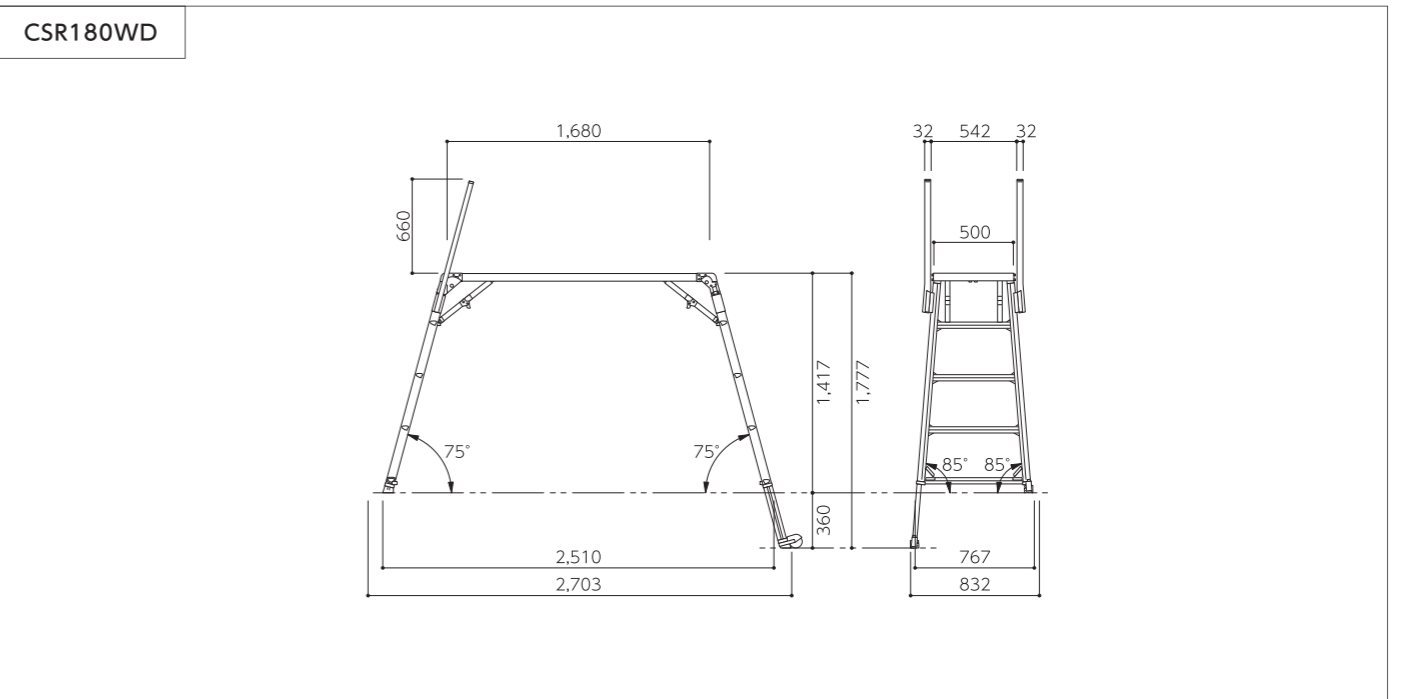
## 設置寸法



## 収納寸法



## 各種寸法図



作業台・ローリングタワー

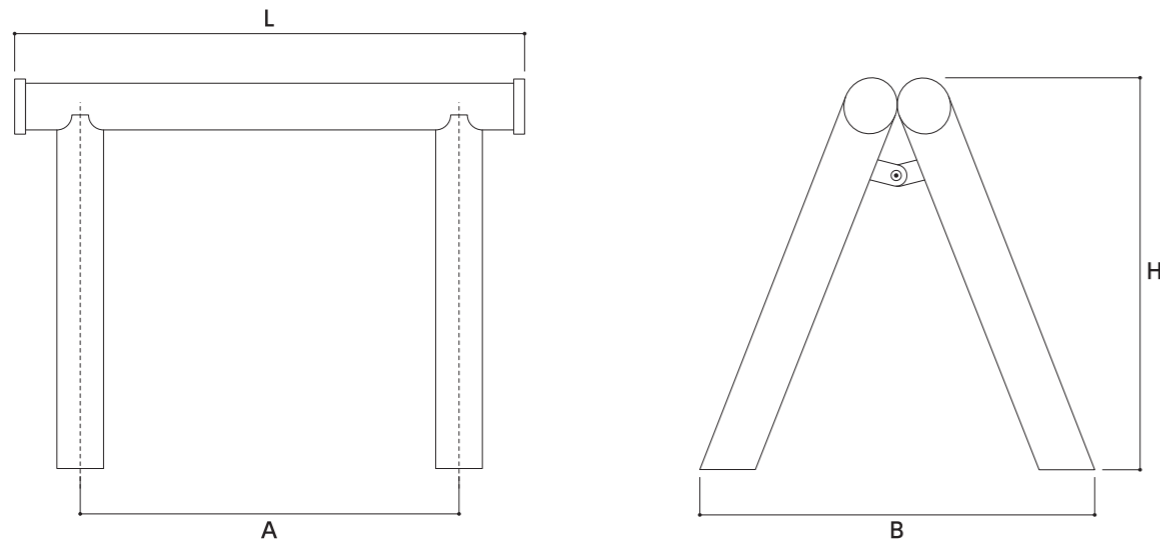
作業台・ローリングタワー

# パイプ馬

## パイプ馬



- 足場板などと組合わせて運搬車の通路や鉄筋組立工事の荷台等として大変便利です。
- 折畳み式ですので、収納は場所をとりません。



品番	L (mm)	A (mm)	H (mm)	B (mm)	単重 (kg)	梱包
P550	550	410	420	400	5.00	10

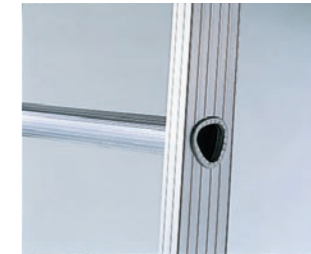
# アルミ梯子

## アルミ梯子

仮設工業会認定合格品



- 鋼製部品は溶融亜鉛鍍金仕上げ。
- ステンレス製のボルト・ナット。



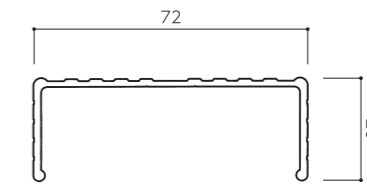
踏ざん結合部



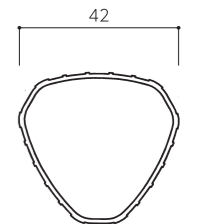
脚部

品番	全長 (m)	単重 (kg)	許容荷重 (kN)
4.0M	4.06	8.80	1.3

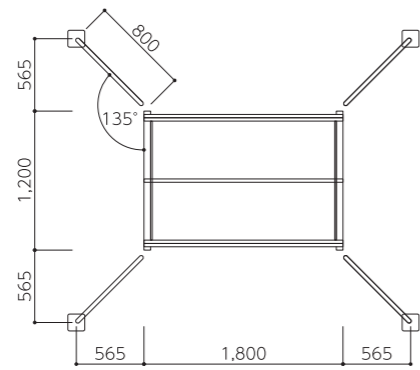
【支柱形状】



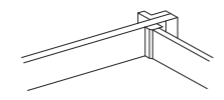
【踏ざん形状】



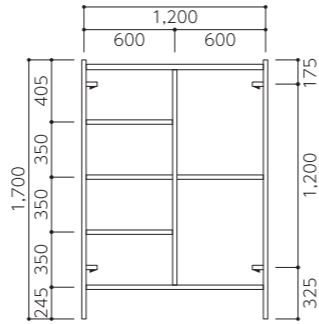
- 安全性
- 合理的な構造
- 移動性
- 耐久性
- 経済性



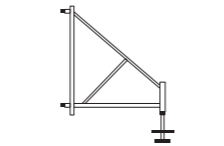
巾木



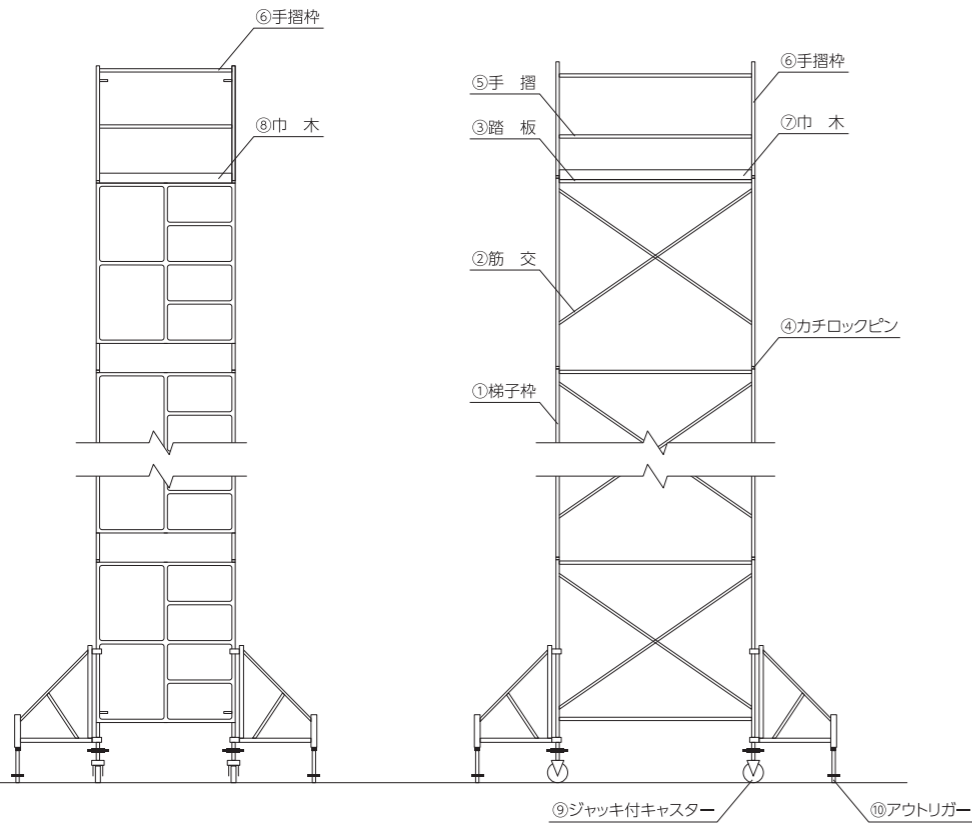
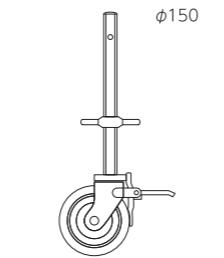
梯子枠



アウトリガー



ジャッキ付キャスター

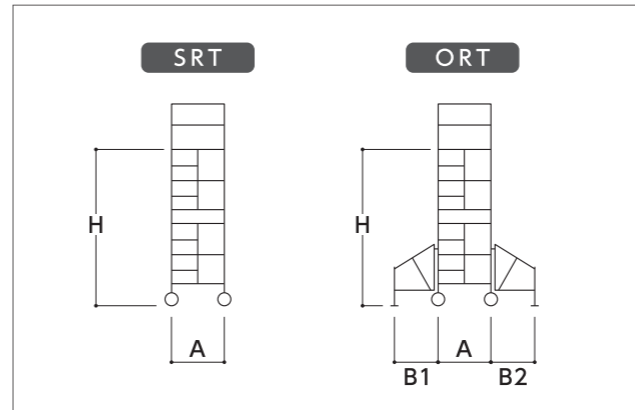


使用上の注意事項

1 組立高さの基準

作業床までの高さは、 $H_m \leq 7.7L - 5$  とします。  
ただし、SRT型の場合は、 $L = A_m$  とし、

BRT型及びORT型では、 $L = A + \frac{(B1+B2)}{2}$  とします。



2 積載荷重の基準

ローリングタワーの積載荷重  $W_{kg}$  は、  
作業床面積  $A \geq 2m^2$  のときは  $W \leq 250kg$  とし、  
 $A < 2m^2$  のときは  $W \leq 50 + 100A$  とします。

3 組立・使用上の注意

- ジャッキによる高さの調節は部材表の高さより、ある程度高くすることはできませんが、安全のため差込長は足場の脚柱に200mm以上確保してください。
- ORT型の場合、アウトリガーの張り出し角度は枠面に対し135°(延長線に対し45°)でセットすることを目安としますが、6段の場合は〔 〕寸法にセットしてください。また作業時には必ずアウトリガーのジャッキを効かせて行ってください。
- 部材表の踏板は作業床として最上部に2枚の他、水平構として最下段に2枚と4段以上の場合、中間部に2枚入れます。その他足場の組立・解体用として全段に1枚ずつセットした数にしています。ただしBRT型では最下段に水平ブレースが付くのでこの限りではありません。
- キャスターはφ150を標準としてあります。
- 組立・使用にあたっては「移動式足場の安全技術基準」に従って行ってください。(以下抜粋)
  - 作業床・枠組構造部・脚輪・手摺等の接続は使用中容易に離脱しないよう、確実に結合すること。
  - 移動は作業者が降りたのちでなければ行ってはならないものとする。
  - 転倒のおそれがある場合は、脚輪間の主軸間隔により定められた高さ以下に組替えること。また、壁つなぎ、控等を設けること。
  - 移動式足場は無理のない姿勢で作業を行うため、作業箇所に近いところに定着すること。
  - 脚輪のブレーキは移動中を除き常に作動させ、その効き具合を確認しておくこと。
  - 凹凸または傾斜が著しいところでは、ジャッキの使用等により作業床の水平を保持するものとする。
  - 最大積載荷重をこえた荷重をのせてはならない。また、材料等は転倒を防ぐため、偏心しないようにのせるものとする。

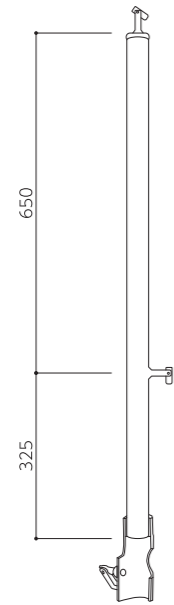


No.	品名	品番	単重(kg)	段数(段)および高さ(mm)			
				1段	2段	3段	4段
				2,020	3,720	5,520	7,720
				部材数量			
1	梯子枠	LF1217	20.70	2	4	6	8
2	筋交	CB1812	4.30	2	4	6	8
3	踏板	FP0518	15.60	2	3	4	5
4	カチロックピン	KP3602	0.50	4	8	12	16
5	手摺	GR2718	2.30	4	4	4	4
6	手摺枠	GF1210	8.80	2	2	2	2
7	巾木	SG0218	4.60	2	2	2	2
8	巾木	SG0212	2.40	2	2	2	2
9	ジャッキ付キャスター	BW1535	5.70	4	4	4	4
10	アウトリガー	OR0808	14.00	—	—	4	4
組立重量(kg)				147	215	338	406

# 手摺柱 / 手摺

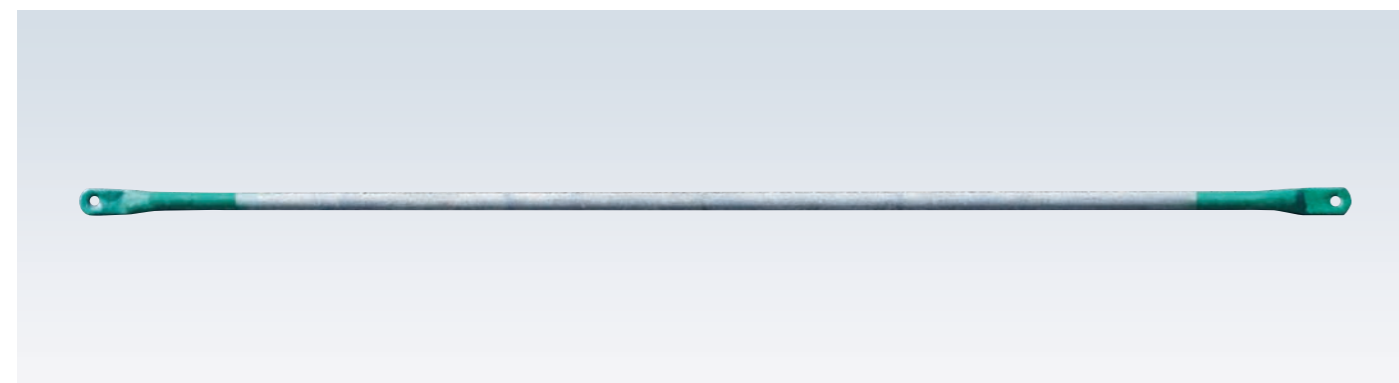
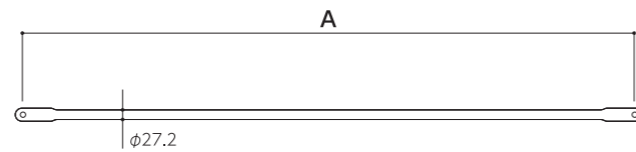
## 手摺柱

品番	単重(kg)	梱包
GP4209	3.50	50



## 手摺 (ローリングタワー・荷受けフォーム用)

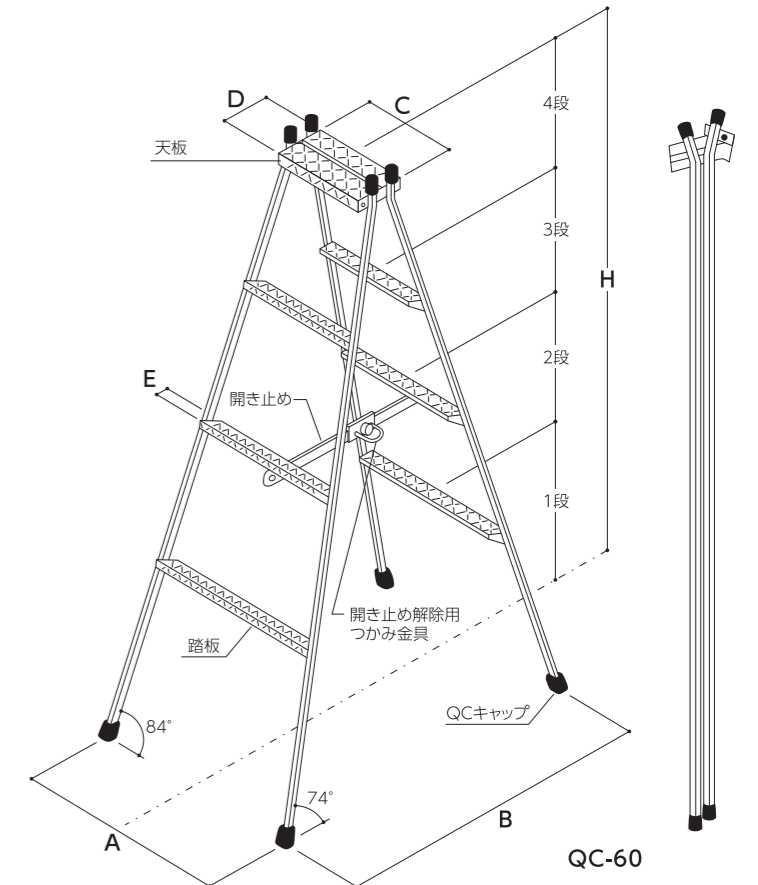
品番	A(mm)	単重(kg)	梱包
GR2718	1,800	2.30	100
GR2715	1,500	1.90	
GR2712	1,200	1.50	
GR2709	900	1.20	
GR2707	750	1.00	
GR2706	600	0.80	



# 脚立

## 脚立

仮設工業会認定合格品



品番	H(mm)	A(mm)	B(mm)	C(mm)	D(mm)	E(mm)	ステップ間隔				単重(kg)	梱包
							1段	2段	3段	4段		
QC-60	1,735	675	985	320	175	52	535	400	400	400	13.50	10
QC-40	1,190	570	760	320	170	55	392	400	400	—	9.70	

## 仮設工業会における試験成績《QC-60》

### 【天板のたわみ及び曲げ試験】

供試体No.	荷重400kg時の鉛直たわみ (mm)	強度 (kg)	認定基準による値
1	5.2	1,520	たわみ：10mm以下 強度：800kg以上
2	5.2	1,375	
3	5.1	1,600以上	
平均値	—	—	

### 【踏板のたわみ及び曲げ試験】

供試体No.	荷重200kg時の鉛直たわみ (mm)	強度 (kg)	認定基準による値
1	6.4	475	たわみ：10mm以下 強度：400kg以上
2	7.0	435	
3	5.9	535	
平均値	—	482	